



APU

からの提案

21世紀の「大分,別府」へ
—アジア太平洋の未来を創造する国際化先進地域への飛翔—



Ritsumeikan
Asia Pacific University
立命館アジア太平洋大学

2000年(平成12年)4月開学予定
設置認可申請中

アジア太平洋時代の 人材養成の拠点として、 国際社会を担うひとづくり

「APUからの提案」
3つの大きな柱



Human Resources ひとづくり

大分県下の高校から多数の生徒を受け入れ、
地元の教育振興に寄与します

21世紀の国際人を養成します

- アジア太平洋時代の人材養成の拠点として、世界から、日本全国から集う若者を育てます。
大分、別府を「第二のふるさと」として、多くの人材が巣立っていきます。

子どもたち・青少年の成長をお手伝いします

- APUの学生・教職員が、子供たち・青少年が英語などの言語教育や外国の文化などに親しむ機会を提供し、異文化理解を促進します。

生涯学習・文化・スポーツ活動の場として、
APUの活用機会を広げます

- 聴講、課外講座受講、APU公開授業等県民・市民の学習のお手伝いをいたします。また、図書館、スポーツ施設、情報システム、ACライブラリー（*アドバイザー・コミッティ委員・企業に
関係する文献・資料を配架）の県民・市民利用についても最大限お応えいたします。

*アドバイザー・コミッティ……世界各国の元首、大使、日本を代表する企業によって構成されている、APU支援組織。

『APUからの提案』発表にあたって

21世紀は、もう目前に迫っています。恒久平和という崇高な理想を現実のものとするため、日本は、国際社会において、大きな役割を担わなければなりません。この役割を果たすため、日本の高等教育機関として、なにができるのか、またなにをなさなければならないのか、その真摯な問いかけから生まれたのが、「立命館アジア太平洋大学（APU）」の構想です。

この構想は、大分県ならびに別府市の協力・支援を得て大きく花開き、立命館創始130年・学園創立100周年を迎える西暦2000年の4月、『APU』を国際観光温泉文化都市・別府市に開学することになりました。

『APU』は、自由・平和・ヒューマニズム、国際相互理解、アジア太平洋の未来創造を理念とする21世紀の人材養成機関として、開学を前に、日本はもとより世界の各界のみなさまから注目と期待を集めています。

このような出発点を築いていただきました大分県と別府市、県民と市民のみなさまに、あらためて感謝を申し上げます。

開学に先立ちまして、このたび「APUからの提案」を発表することにいたしました。みなさまが心から愛しておられる「ふるさと大分県・別府市」の発展に寄与することが、『APU』の使命のひとつであると考えたからです。

どうか、私どもの趣旨をおくみとりいただき、積極的な提案を寄せていただければ、誠に幸いに存じます。

みなさまからのご提案を参考に、「地域への貢献」を、APUすべての学生が、実践すべき信条のひとつにしたいと考えております。

みなさまのいっそうのご支援を、よろしくお願い申し上げます。

1999年（平成11年）6月

大学と学生が、 大分、別府と世界をつなぐ ネットワーク

「APUからの提案」
3つの大きな柱



Global Network えんづくり

アジア太平洋地域に向けた情報発信の拠点として、
大分、別府が多様なネットワークを広げることに寄与します

県民・市民が気軽に訪れ、豊かな時間を過ごせる
国際交流キャンパスを創造します

- APUで行われる講演会、イベントなどに県民・市民参加をよびかけます。
- 貴重植物ゾーン、別府湾を見下ろす展望台などキャンパスの恵まれた自然と景観を活かした県民・市民との交流を大切にします。

県民・市民とのあたたかい交流を通して、
大分、別府を留学生の「第二のふるさと」にします

- 国際交流は心の交流。学生のボランティア活動を奨励します。
- 学生の参加で、地域イベント、まつりの活性化につとめます。

国内外の大学とのネットワークを大分、別府の活性化に活かします

- 海外協定大学・教育機関との交流を促進します。
- 別府市内はもとより、県内の大学・短大との共同イベントの開催、単位互換などのとりくみを広くよびかけます。
- 立命館大学、立命館附属校とAPUとの交流を積極的に推進し、地域の学術・文化・スポーツの振興に貢献します。

学術・文化・観光・産業が
世界に輝くまちづくり

「APUからの提案」
3つの大きな柱



Regional Development

まちづくり

若いエネルギーで、県民・市民のくらしが輝く
「国際学生都市」づくりに協力します

- 留学生が大分県下の各市町村、別府市の親善大使となり、大分、別府を世界に知らせ、国際観光を推進します。
- 提案から行動へ、体験から創造へ… 多様な学生のダイナミックな取り組みを通じて、「新しい文化を創造し発信する、魅力あるまちづくり」を進めます。
- 新しい国際交流化を育て、「県民・市民が行ってみたいキャンパス」を創造します。
- 通訳ボランティアなどで、2002年ワールドカップの成功に協力します。

APUの教育研究資源を活かした国際学術観光都市づくりを推進します

- 産官学連携による共同研究等をおこない、観光・産業・生活の発展に貢献します。
- 各種団体等の審議会や講演会等へ委員・講師としての参加・協力をおこないます。
- 国際的学会、国際会議、国内学会、研究会などの誘致・開催にとりくみます。

まちと一体となって、インキュベーター(孵卵)空間を創造し、
地域産業の担い手を育て、
若者が定住するまちづくりへのお手伝いをします

- インターンシップ等を通じて、地域の企業・NPO(非営利組織)・自治体との交流を進めます。

Yes, we are APU!

多様な学生と文化

世界50カ国・地域と日本各地から集う学生(文部省申請定員3560人)

多様な教員

半数の外国人を含む約100名の多彩な教員スタッフ

8つの言語、環境、観光、情報、ファイナンス、会計、プロダクション、マーケティング、マネジメント

多角的な国内外のネットワーク

各国政府機関、大学・高校等の教育研究機関、企業・団体、研究者など(1999年5月31日現在)

アドバイザー・コミッティ(AC):日本とアジア太平洋地域を結ぶ各界リーダー244名による支援ネットワークです。

サポーター・グループ(SG):企業167社などから奨学金の寄附申込は約35億円となっています。

アカデミック・アドバイザー(AA):日本人21名を含む54名で構成されています。

海外協力協定締結・大学・研究機関:24カ国・地域83機関と締結しています。

学生推薦協定締結・高校:24カ国・地域の257機関と締結。推薦協定人数の合計は、755名となっています。

ネットワークを活かした教育プログラム、教育システムと研究活動

豊かなキャンパス

情報ネットワーク、教育施設(教室、図書館、ホール、会議室など)、スポーツ施設(体育館、グラウンド、テニスコートなど)、国際寮・APハウス

立命館学園

京都の1200年の歴史と伝統の中で生まれ、培われた豊かな学術・文化・スポーツ資源、学園ネットワークを有しています。

立命館大学(京都・滋賀)・立命館高校・立命館中学校・立命館宇治高校(京都)、立命館大学慶祥高校[立命館大学慶祥中学校・2000年4月開学予定](札幌)

大阪オフィス、東京オフィス、韓国・ソウルAPU事務所、インドネシア・ジャカルタAPU事務所、立命館UBCハウス(カナダ・バンクーバー)



キャンパス完成予想図

みなさまの積極的なご提案をお待ちしています

「APUからの提案」について、「詳しいことが知りたいので、APUについての資料を送って欲しい」、「もっとこういうことはできないものか」、「自分たちの会合に説明に来て欲しい」、「ホームステイなどで協力できる」、「社宅や保養所の活用について協力できる」、「留学生の話し相手になってほしい」など、みなさまからの積極的なご提案をお待ちしています。

みなさまからのご提案を受けて、まちの発展と県民・市民のみなさまの生活の向上に、貢献できる政策をつくりあげたいと考えております。

立命館アジア太平洋大学開設事務局(APU事務局) 大分県別府市荘園町9-1

〒874-0838 大分県別府市荘園町9-1
TEL・0977-27-2006~2007 FAX・0977-27-2008